

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	プラスワンキッズ		公表日 2025年 3月 22日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		適切であると考えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		現状では適切だが、必要に応じて増員も考えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		現状では適切だが、必要に応じて構造化やバリアフリー可に努めていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		良い空間になるよう今後も努力を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		間仕切り等を使うなど、集中できる環境やクールダウンできる環境を整えていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		常勤職員によるPDCAサイクルによる目標設定と振り返りを実施し、非常勤職員にも周知できている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	引き続き、年1回のアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた業務改善を実施していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		引き続き、年1回のアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた業務改善を実施していく。ミーティングの機会や情報共有の機会を増やしたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	第三者による外部評価未実施。今後、必要に応じて検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		今年度は内部での研修、OJTの他に外部講師を招いての研修を実施した。今後も続けていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムはHPに適切に公表されています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々詳細な記録をとり、6ヶ月以内のモニタリングを行い、面談によりこどもや保護者のニーズを把握したうえで適切に計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員による担当者会議や日々の課題を詳細に記録して適切な個別支援計画が作られている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	周知共有が不十分な部分もあり。対応にあたる全職員で課題についての理解を深めていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたツールや行動観察などを使った、詳細な記録がとれている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		主に本人支援に重視を置いているものの、利用者本人やご家族のニーズを適切に反映した具体的な支援内容が反映されている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	担当者に偏ってしまうことが多い。今後、チームでの立案を検討していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化せず、個々の特性に合わせたプログラムになっていると思う。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者からのニーズや子供たちの特性に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせサービス計画を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	支援開始前に打合せはせずに、LINEや書面による注意点の共有のみになることが多い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	書面での記録は詳細に記載しているものの、職員間で話し合う時間が短く感じる。ミーティングや情報共有の時間を月間計画に入れるなど増やしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援終了後に個別の課題に合わせた詳細な記録の徹底、支援の検証・改善を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		日々詳細な記録をとり、6ヶ月以内のモニタリングを行い、面談により子どもや保護者のニーズを把握したうえで適切に計画を作成している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子供の自己選択は尊重され、支援に反映されていると思う。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		適切な職員が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携できていると思う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者を通して情報共有することが多いものの、適切に行われていると思う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	相談員や保護者から情報共有はするものの、就学前の施設との情報共有は実施していない。今後必要に応じて検討する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		契約終了前に、相談員及び卒業後に利用する事業所の担当者に適切に引継ぎを行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	児童発達センターやスーパーバイズとの連携は実施していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	公園で地域の方たち（子供たち）との交流はあるものの、具体的な活動の機会は設けていない。今後必要に応じて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	協議会への参加は積極的には言えないが、参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や写真付きLINEにて、その日の様子を伝えるとともに、個別に電話やLINE、面談により課題について相談し共通理解を深めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		個別の事案に対してペアレントトレーニングや家族支援は行っている。家族が参加できる研修や交流の機会を検討していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に書面及び口頭にて説明を行っています。また、不明点については適宜迅速に回答できるように連絡体制を整えています。	
37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子どもの利益や保護者のニーズを踏まえた個別支援計画を適切に作成できている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画を適切に作成し、保護者からの同意を得ている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		適切な助言、相談はできていると思う。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	現状交流の場の提供はできていない。必要性は感じているので、今後保護者同士や兄弟同士が交流できる場所や機会づくりをしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		お迎え時や電話、LINEで受けた苦情や相談内容について、管理者が確認のうえ、迅速かつ適切な対応をするよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	現状では会報等は発行していませんが、個別にLINEで写真を送るなど、発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報使用同意書にて、情報の使用範囲を明確にするとともに、書類を鍵付ロッカーで保管するなど、外部流出等には注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報伝達手段としてLINEやメールを活用しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	現状では具体的な行事を行っておらず、地域との関わり合いについて、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各種マニュアルはできているものの、職員・保護者への周知が徹底されていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	BCP計画は作成されているものの、定期的な訓練まではできていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		職員間で事前の情報共有ができています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食物アレルギーについては、アセスメントに記載するとともに、当該食材を使用しないことを徹底しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		子供たちの特性上、安全面は特に注意して支援を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全面には注意し連絡体制も整備されているが、安全計画の周知はできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告書を記載し、事例集を全職員が閲覧できる場所に置いて、情報共有を行っています。また、後日、振り返りや今後の対策を話し合っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設置し、研修の機会を確保するとともに、適切な対応を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	現在は身体拘束を必要とする事案はなく個別支援計画に記載することはないが、必要な場合には虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会による、適切な対応を行います。	